

# 令和5年度 指定管理施設評価票

## 1 基本情報

(令和6年3月31日時点)

施設名	芝地区いきいきプラザ（三田、神明、虎ノ門いきいきプラザ）						
指定管理者	百葉の会・ヘルスケアデザインネットワーク・東急コミュニティー共同事業体						
指定期間	令和5年4月1日～令和9年3月31日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	－	使用許可権限の付与	－
施設所管課	芝地区総合支所管理課						

## 2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	69	50	19	0	0	0	10	79
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考	
正規・非正規職員の退職者数		14	15					

## 3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
施設利用者数（人）	209,601	228,284				
貸室稼働率（％）	54.0	56.3				

## 4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
経費実績	収入	447,428,591	469,105,170	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	446,346,353	468,685,275				
	利用料金収入						
	その他収入	1,082,238	419,895				
	支出	440,176,037	465,319,705	0	0	0	
	職員人件費	237,338,086	241,573,687				
	光熱水費	45,747,053	44,524,380				
	修繕費	11,574,915	12,302,752				
	事業運営費	21,721,057	23,436,949				
	施設管理経費	77,794,926	74,570,771				
その他経費	46,000,000	68,911,166					
差引収支額	7,252,554	3,785,465	0	0	0		
年度協定書で定める指定管理料	447,974,028	482,089,114					

## 5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	3 / 5	×1	3 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者へ声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	×5	25 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	3 / 5	×2	6 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点					94 / 100

### 【各項目の評価について】

- 5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。
- 3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。
- 1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。
- ※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	<p>・職員の定着率向上に課題が残りました。職員間の縦横のコミュニケーション不足を理由の一つと捉えています。まずは管理職のスキルアップを主眼とした研修等を本部と連携して行い、職員の定着率を向上させてお客様の満足度の向上につなげていきます。</p> <p>・共同事業体としてのノウハウを活かすことで文化芸術面に特化した事業の充実を図ることができ、これまでにない様々なイベント、教室を展開し、多くのお客様に満足いただけました。</p>
区（施設所管課）による評価	<p>利用者の声に耳を傾け多様なニーズに応え、ヴァイオリン講座等の新規事業を開催し、利用者から好評をいただいていることが評価できます。また、保育園や近隣の学生と合同でイベントを行うなど、幅広い世代との交流や地域との交流にも取り組んでいます。区との関係性においても、日頃から情報共有を図り、緊張感を持ちながらも緊密な関係が維持できており、今後も更なる利用者数の増加・利用者満足度の向上に努めるよう適切に指導していきます。</p>

## 6 評価

令和5年度の管理運営に関する総合評価

S

### 【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

- S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）
- A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）
- B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）
- C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）